

平成29年7月26日
青森森林管理署

三厩中学生による「鋸岳歩道」整備作業を実施しました。

平成29年7月10日（月）11：30～16：30、外ヶ浜町立三厩中学校主催、地域の方々の参加協力、三厩・今別森林事務所職員参加により、「増川実験林内歩道（鋸岳に至る歩道）」の整備等を実施しました。

目的は、生徒たちが自分たちの住む地域を、鋸岳（592m）に登山しながらの歩道整備体験などを通じて、郷土に対する愛着を深め郷土愛を育む、地域社会関係機関との関わりから社会の仕組みを理解し、社会に貢献する等をねらいとして実施されました。

参加者は、中学生（1～3年生）28名、教員11名、PTA 3名、森林事務所6名、計48名となりました。

開会式では、三浦博英校長から、「当イベントは、昨年も計画されましたが天候等により実行できなかったものです。」「今日は指導を守りケガの無いように注意してください。」等と挨拶があり作業を開始しました。

現地の「増川ヒバ施業実験林」入口で、地域統括森林官から「増川ヒバ施業実験林」について、ヒバ研究者の「故 松川恭佐 氏」が確立した「ヒバの天然林施業法」を、ここの約200ヘクタールのエリアで、昭和6年からこれまで85年余りも実験されて続けていること、木材の生産・利用の大切さ、様々な森林生態系があることなどを学びました。

続いて、歩道整備作業を行いました。3年生は先行して急傾斜地で古くなったロープの張り替えや新たなロープの設置を実施、次に出発した2年生はコースの分岐箇所などに案内板等を設置しました。最後の1年生は歩道コース内の危険な枯れ枝の除去やゴミ拾いを行いました。

更に、登坂時のポイントとして、疲れにくい登坂の仕方などを生徒にアドバイスしました。また、「登りの濡れている場所は滑りやすいので注意してください。」などの安全伝言ゲームも行いながら楽しく登りました。

山頂に到着した3年生は、準備したペンキ等により祠の補修作業も行いました。

山頂脇の祠の修繕

鋸岳山頂で記念写真

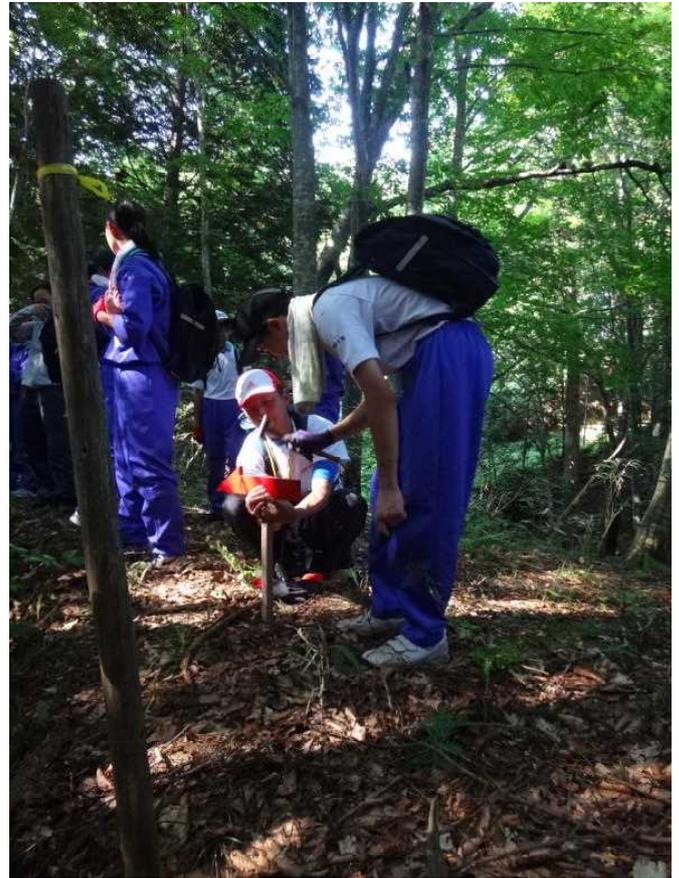


参加した多くの生徒には、達成感とさわやかな風の中で日本海や津軽海峡の絶景を一望できた笑顔が見られました。

山頂での休憩後、全員で記念撮影し、登坂時に一生懸命に設置したロープ及び看板位置の再確認等を行いながら下山しました。



ロープ張り替え箇所



案内矢印設置箇所

三厩森林事務所のスタッフから「下山時には膝が痛くならないように、膝にやさしくゆっくり降りるように」と話したところ、生徒からは「若いので大丈夫です」と元気で明るい笑いがこぼれていました。

下山後、生徒代表からお礼のあいさつがあり、「登山は疲れたけれど地域のためにがんばりました。」の言葉に参加職員一同安堵しました。

当日は、朝霧から一転し晴れて最高気温28℃と高い時間帯での作業となり、特に参加者の熱中症が心配されましたが、登山開始直前と下山直後の水分補給を徹底するなどし、無事に終了することができました。

今後も安全に努めた森林作業体験等を通じ、森林の役割の理解促進に努めて参ります。



水分補給の様子